

# 29年度 氷見市教育総合センターだより 第2報

## 氷見市学力向上研修会

5月23日実施

演題 「全国学力・学習状況調査の問題、調査結果を生かした研修の在り方」

講師 富山県総合教育センター学力向上推進チーム 主任研究主事 岡本 薫先生  
研究主事 脊戸 義明先生

今年度の教育総合センター主催の研修会がいよいよ始まりました。

「学力向上研修会」には、市内小中学校の教務主任 20 名が参加しました。講師の先生方からは、「全国学力・学習状況調査の問題、調査結果を生かした研修の在り方」について具体的にお話をしていただきました。研修の一部を紹介します。(当日の資料より)



### 調査問題の活用

- 調査問題を解き、どのような力が必要なのか考える。
- 誤答傾向から、児童生徒のつまずきを捉え、指導に生かす。
- 「学習指導に当たって」を参考に、指導の改善・充実を図る。など

### キーワードで見る「拠点校の学力向上策」

- 学習規律の徹底 (発表者の方を向いて聞く、しっかり挙手して発表 など)
- 学習意欲の向上 (疑問を引き出す演示実験、实物や映像の活用 など)
- 課題の明確化 (比較する必要感を生み出す、既習事項との違いを確認し課題を明確にする など)
- 個の学びの保障 (まず、自分で考える)
- 学び合い (視点を基に比較・検討、モデルでの説明による考えの練り上げ など)
- 学習成果の確認 (学習活動の意味付け、身に付いた資質・能力の自覚・共有 など)

### 「我が校の学力・学習診断ソフト」の活用 (9月にCDで配布)

- ・教科区分毎の全問題の正答率・誤答率・無回答率を正答率の高い問題から順に並べ替えて自校の強み弱みを見付ける。
- ・質問紙の項目毎に、自校と全国、県と比較してグラフにし、学習状況の実態を把握する。
- ・教科毎の A 「知識」、B 「活用」のバランス等、児童生徒一人一人や学級の特徴を把握する。

## 理科教育講座（自然観察入門コース）

6月8日実施

### 会場

氷見市教育文化センター

薮田漁港付近の露頭（地層観察 等）

氷見市ふれあいスポーツセンター周辺（野草、昆虫等の観察 等）

矢田部の露頭（地層観察 等）



&lt;地層観察&gt;



&lt;植物の仲間分け&gt;

参加者の感想を紹介します。

- ・氷見の地層がよく分かる場所を知ることができてよかったです。
- ・有孔虫を顕微鏡で見ることは初めてで興味深かった。
- ・実物の地層のスケールの大きさに驚いた。子供たちにもぜひ見せたい。実際に見てることは大切だ。
- ・専門的なことをたくさん聞けてうれしかった。
- ・「植物を取れるだけ、取っておいで」と言って、後で仲間分けというのがアクティブ・ラーニングの一歩だと思った。
- ・黒マルチシートの上に、植物を並べるだけで仲間分けすることができ、楽しく学習できることが分かった。活用したい。
- ・ハルジオンとヒメジョオンの違いが分かりうれしくなった。
- ・半日はやや短かった。学校に帰って先生方に広めたい。

平成 27・28 年度学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業拠点校の取組から  
子供が関わり合いながら、考えを広め、深めていく授業づくり  
氷見市立久目小学校

## 1 主な研究内容

(1) 対話をしながら考えを深めるための「聞く・話す・書く」力のスキル向上

「学習指導要領解説国語編」や教科書を基に、これまで活用していた「聞く・話す・書く」力のスキル表について見直しを行った。全校で取り組む項目と各学年で取り組む項目を決めて教室に掲示し国語や算数等の教科だけでなく、学校生活様々な場で常に意識し取り組めるようにした。

	きく	はなす	かく
ぜんがくねん	○さいごまでくちをはさまない ○めを ○うな	○なまえをよばれたらへんじを	○ひづけ、めあて、ふりかえり
	聞く	話す	書く
全年	○最後まで口をはさまないで聞く。	○指名されたら返事をする。	○日付、めあて、振り返りを書く
	聞く	話す	書く
中学生年	○最後まで口をはさまないで聞く。 ○目をつないで聞く。 ○うなずきながら聞く。	○指名されたら返事をする。 ○最後まで、はっきり聞こえるように話す。	○日付、めあて、振り返りを書く。 ○適切な大きさで書く。 ○書いたものを読み返す。 ○習った漢字を使う。
	○話し手の意図をとらえて聞く。 ○自分の考え方と比べながら聞き、相づちやうなずきをする。	○聞いている友達の反応を確かめながら話す。 ○前の人とつなげたり、問い合わせたりして話す。 ○意見と理由を区別して話す。	○事実と感想、意見を区別して書く。 ○適切に接続詞を使って伝わりやすい文章を書く。 ○条件に合わせて書く。

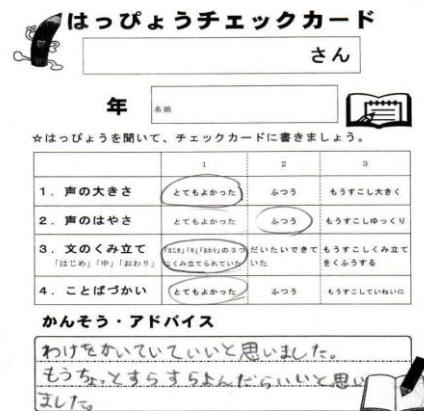
さらに、学年の重点項目を決め、付けたい力を念頭におきながら指導に当たった。

(2) 自己有用感を高め、進んで学習に取り組む学習環境づくり

QU調査の分析結果を基に、自己有用感が低い子供や不満足群に属している子供に考慮した座席配置やグループ編成を行った。授業では、チェックカード等を使ってペアやグループでお互いの意見を聞き合ったりアドバイスし合ったりできるように学習形態の工夫を行ってきた。さらに、「自分の意見を話すことが、みんなのためになる」と話し合うことの意義を確認したり、振り返りで「話し合ったことで自分の考えが深まったこと」を自覚させたりしたことで、子供の自発的な発言を促すようにしたことは、子供の自己有用感を高めることにつながった。

## 2 今後に向けて

- ・「聞く・話す・書く」力の中では、「書く」力がまだ十分とは言えない。書くことに抵抗感がある子供も見受けられるので、今後も、「書く」力の指導について、より個々の子供に合った指導を心がけ、頑張りを認める声掛け等の工夫をする必要がある。
  - ・QU調査の結果を考慮して、教科等の授業や学級活動、朝や帰りの会等の取組を工夫してきたが、まだ自己有用感が高まらなかった子供もいる。互いのよさを認め合い、励まし合って学ぶ学級づくりを進め、授業の基盤となる温かい学級になるように努める必要がある。
  - ・少人数でも、話合いが深まり、関わり合いが生まれる発問について工夫する必要がある。



### ＜子供同士で見合うためのカード＞

## 今年度の小中連携教育について

### 氷見市の基本方針

「9年間の学びをつなぐ・支援をつなぐ」を基本理念として、校区の実情に応じた小中連携教育を推進する。

- 小中学校間の段差を軽減し、円滑な接続を図る。
- 系統的、継続的に学びや支援を積み重ね、健全な育成を図る。
- 教職員の指導力向上と、児童生徒の学力向上を図る。



### 全中学校区で計画されている特徴的な学習指導の取組

南部中校区	<ul style="list-style-type: none"><li>・乗り入れ授業（外国語活動）と、小中兼務教員（音楽科）の授業を実施し、指導技術を学ぶ。</li><li>・「学習指導・生活指導上の連携表」を基に、異校種・他教科の指導方法から、小中連携に有効な学びのスタンダードを学ぶ。</li><li>・ICTの活用方法についての研修会を実施し、活用における情報の共有及び理解を図る。</li></ul>
北部中校区	<ul style="list-style-type: none"><li>・「中1ギャップ」解消のための小学校教師による授業参観と懇談会を実施する。</li><li>・全国学力・学習状況調査の分析結果についての研修会を実施し、成果と課題を共有する。</li><li>・生徒指導主事が集まり学習上・生活上の規律に関する問題等について共通理解し、連続性のある指導を推進する。</li><li>・春休み中に6年生への共通課題を配布し、中学校入学時に集めて点検する。</li></ul>
西部中校区	<ul style="list-style-type: none"><li>・3小学校高学年児童を久目小学校に集め、保健体育科教師による陸上の特別授業を実施し、授業後に、効果のあった指導法と今後の指導上の留意すべき点を中心に話し合う。</li><li>・中学校でのウエルカムベイビー、ヤングヘルスセミナー事業に小学校養護教諭が参加し、発達段階に応じた保健指導の共通理解を図る。</li><li>・3小学校の6年生児童を中学校に集め、英語教師による授業を実施し、授業後に、効果のあった指導法と今後の指導上の留意すべき点を中心に話し合う。</li></ul>
十三中校区	<ul style="list-style-type: none"><li>・家庭学習週間を連携して行い、家庭学習時間の確保とアウトメディアの取組を行う。</li><li>・5、6年生の外国語活動で、英語科教師と小学校教師の乗り入れTT授業及び研修会を行う。</li><li>・新入生テストや全国学力・学習状況調査の結果について情報交換し、乗り入れ授業における教科の決定等、効果的な小中連携の在り方について検討し、評価する。</li></ul>
西條中校区	<ul style="list-style-type: none"><li>・小学校の陸上指導や合唱、器楽演奏の指導において中学校の保健体育科教師、音楽科教師が乗り入れ授業を行い、指導技術を学ぶ。</li><li>・小中合同ケース会議を開き、特別な支援を要する6年生児童の支援方法について協議する。</li><li>・中学校生活への心構えについて、中学校教頭が乗り入れ授業を行う。</li></ul>

## 夏季研修会のお知らせ

本年度の夏季休業中における研修を下記のように計画しました。本年度は、「出会い・発見・宝物」をテーマに、今日的な教育課題を踏まえた研修会を企画しました。

研修会申込みは、電子データ（5/23 送付済）にて、7月7日（金）までに、氷見市教育総合センターへ提出くださるようお願いします。

研修会名・内容・講師等		実施日等	対象者・備考
1	第1回氷見の教師未来塾 講師 広島市立梅林小学校 校長 中西 浩二 先生 内容 避難所運営における心構えと対応について	7月25日（火） 14:30～16:30 教文4階ホール	・管理職悉皆 ・希望者 ※主催：学校教育課
2	幼保小連携教育合同講演会 講師 北海道教育大学 教授 阿部 美穂子 先生 内容 幼保小連携教育について	7月26日（水） 13:30～16:45 いきいき元気館	・希望者 ※子育て支援課と連携開催
3	第1回教育セミナー（兼 第2回生徒指導研修会） 講師 愛媛大学 教授 平松 義樹 先生 演題 「教えること、育てるのこと、そして、愛すること～教師として生きる覚悟を問う～」	7月28日（金） 13:30～16:45 教文4階ホール	・各校1/2程度の教員
4	第2回ICT活用教育研修会① 講師 富山大学 准教授 長谷川 春生 先生 内容 デジタル教材の作成と活用について	8月3日（木） 13:30～16:30 南部中学校	・ふるさと学習担当者等 各校1名以上 ※②と2回連続受講が望ましい
5	ふるさと学習研修会 講師 博物館学芸員外 会場 氷見漁港、氷見ラボ水族館、博物館等	8月8日（火） 7:00～12:00 市内各会場	・新採 ・今年度氷見市へ転入した教員 ・希望者（小3・4学年担任）
6	仲間に学ぶ研修会 講師 氷見市立灘浦小学校 教諭 飯山真貴子 先生 氷見市立西條中学校 教諭 小間 健郎 先生 氷見市立比美乃江小学校 教諭 越前 雄介 先生 内容 教科指導、特別支援教育、海外教育事情	8月8日（火） 13:30～16:30 教文4階ホール	・20～30代教員 ・希望者
7	第2回教育セミナー（兼 第2回学力向上研修会） 講師 高知大学 准教授 鹿嶋 真弓 先生 演題 「互いに認め合い高め合う学級づくり」	8月9日（水） 9:00～12:00 教文4階ホール	・各校1/2程度の教員
8	第1回英語教育研修会 講師 関西外国语大学 教授 中嶋 洋一 先生 演題 「これからの中学校英語教育に求められること」	8月10日（木） 14:30～16:30 教文4階ホール	・小学校1名以上 ・中学校英語教諭
9	道徳教育研修会 講師 京都産業大学 教授 柴原 弘志 先生 演題 「『特別の教科 道徳』の授業づくりと評価」	8月22日（火） 13:30～16:30 教文4階ホール	・道徳教育推進教師 ・希望者
10	第2回ICT活用教育研修会② 講師 富山大学 准教授 長谷川 春生 先生 内容 デジタル教材の作成と活用について	8月24日（木） 13:30～16:30 朝日丘小学校	・ふるさと学習担当者等 各校1名以上 ※①と2回連続受講が望ましい

## 若手研修会について

若手教員の指導力向上が急務です。児童生徒理解や指導方法等について、新たな出会いと発見の場を提供するとともに、教員人生の宝物を手にする一助となればと考えています。

研修会名・内容・講師等		実施日等	対象者・備考
1	テーマ QUの活用方法 講師 氷見市立西條中学校 内容 QUの分析と活用の方法について	6月30日（金） 17:30～19:00 教文第一会議室	・小中学校
2	テーマ ネットトラブル防止 講師 氷見警察署生活安全課生活安全係長 荒井 久也警部補 内容 ネットトラブルの現状と理解	7月31日（月） 17:00～18:30 教文第一会議室	・小中学校
3	テーマ 授業づくり 講師 氷見市立窪小学校 教諭 澤村 梢 先生 内容 「アクティブラーニング」の視点からの授業改善	8月4日（金） 17:00～18:30 教文第一会議室	・小学校 ※終了後、懇親会
4	テーマ 生徒指導 講演 氷見市立南部中学校 教頭 濱井 孝久 先生 内容 生徒指導の機能を生かした集団づくりの理論と実践 ～生徒が輝く学級運営・部活動運営を目指して～	8月9日（水） 17:00～18:30 教文第一会議室	・中学校 ※終了後、懇親会
5	テーマ 「特別の教科 道徳」 講師 氷見市立久目小学校 教頭 中野 聖子 先生 内容 特別の教科「道徳」の指導と評価の在り方について	9月22日（金） 17:30～19:00 教文第一会議室	・小学校
6	テーマ 特別支援教育 講師 未定 内容 特別な支援を必要とする児童理解の理論と実践 ～チームによる支援の在り方 事例研究を通して～	11月下旬 17:30～19:00 教文第一会議室	・小学校

<本研修会の参加を希望する教員（原則8年次まで）は、電子データ（5/23 送付済）にて、6月23日（金）までに、氷見市教育総合センターに提出してください。>